

## 2021年大崎高校 サッカー部 インターハイ予選報告

・インターハイ予選 1回戦 VS 文教大付属高校

前半 2-1

後半 1-2

PK 4-1

前半から点の取り合いになった試合は大崎高校に軍配が上がりました。前半の立ち上がりは慣れない土のグラウンドに手こずりながらもMF加藤が高めのボールを真ん中に入れると、MF江上が胸でトラップし、ボレーシュートを叩き込み、先制しました。これが公式戦初ゴールであったため、歓喜の瞬間でした。しかし喜びもつかの間、すぐに失点しまいました。大崎高校はボールを支配し、試合を優位に進めていきます。そしてCKのこぼれ球をFW山口が折り返し、FW渋谷がヘディングで決めて、勝ち越しに成功しました。後半も中盤での細かいつなぎや崩しで相手ゴールに迫る大崎でしたが、逆に相手の見事なカウンターで失点してしまいました。しかし、同点に追いつかれても焦ることなく、繋いで攻めていき、SB上坂の浮き球の楔のパスにFW山口の見事な落としからMF江上がキーパーとの1対1を冷静に決めました。これで勝負あったかと思われましたが、後半のロスタイムに追いつかれ、PK戦になりました。PK戦では大崎高校GK林が1人目を完全に読み切り、ストップするなど、好セーブが続き、それに対して大崎高校は全員が決め、試合終了となりました。大崎高校サッカー部がインターハイ予選を勝ち上がったのは十数年ぶりであり、去年の選手権大会も含め、また歴史を作ることが出来ました。ただ、選手たちには以前のような歓喜の姿はなく、次の試合に向けての改善点や良かった所、悪かった所を話し合っていました。

※この試合が高校サッカードットコムさんに取り上げていただきました。

試合内容や、写真も載っているのでチェックしてみてください。

・インターハイ予選 2回戦 VS 保善高校

前半 0-4

後半 0-2

0-6 敗北

2回戦はT3リーグに所属している強豪保善高校との試合でした。雨が降るグラウンドで一矢報いるために選手たちは持てる力のすべてを出しました。しかし、縦に早い相手のサッカーに終始ついていくことが出来ず、結果は6失点という結果になってしまいました。3年生はこの試合で引退する生徒も多くいたので、試合後には「もう少しこのチームでやりたかった」と涙する生徒も多々いました。結果は惨敗だったものの、誰も手を抜くことなく、強豪相手に臆することなく戦い続けたことは間違いなくこの3年間で成長した所だと思います。

～大崎サッカー部NEWS～

1年生が10名入部を決め、今大崎高校サッカー部は約30名で活動しています。去年チームで決めた都大会出場を目標とし、活動しています。強豪を倒して都大会に行きたい、人工芝のグラウンドで練習して上手になりたい、と思っている中学生は是非、部活動見学の連絡お待ちしております。

TEL 03-3786-3355

サッカー部 顧問 樺澤 佑太郎 飯野 隼介



